

(公財) 地震予知総合研究振興会
長岡平野西縁断層帯の活動性評価に関する研究委員会 (第25回)

概要報告

1. 日時 2022年9月26日(月) 13:30~16:50

2. 出席者

主査	東北大学	名誉教授	長谷川 昭
委員	東京大学	名誉教授	岩崎 貴哉
	東京大学地震研究所	教授	小原 一成
	地震予知総合研究振興会	会長	金沢 敏彦
	東京大学	教授	酒井 慎一
	名古屋大学	教授	鷺谷 威
	防災科学技術研究所	主任研究員	武田 哲也
	東北大学	准教授	中原 恒
	横浜市立大学	教授	吉本 和生
事務局	(公財) 地震予知総合研究振興会		

(敬称略)

3. 議第

- (1) 2022年度上半期の活動報告等
- (2) 長岡平野西縁断層帯周辺の地盤構造等の検討—地震波形の数値モデリング(3)—
- (3) 柏崎刈羽周辺における物理探査を踏まえた3次元地下構造モデル—長周期地震動評価を目的としたモデル構築—

4. 委員会の状況

2022年度上半期の活動報告として①地震活動状況等について、②GNSS観測結果等について説明があったのち、観測データを用いた解析、物理探査結果を用いた地下構造モデル構築例等の幅広い分野における最新の調査研究について話題提供があった。

(1) 2022年度上半期の活動報告等

2022年度上半期の活動報告が行われた。

- ① 本検討で整備した稠密地震観測網（AN-net）の維持管理状況および地震活動状況の説明が行われ、委員会では、長岡平野周辺における地震の震源深さ分布と速度構造との対応等について意見交換が行われた。
- ② GNSS観測結果等について、データ処理の状況、観測データを用いた解析等について説明が行われ、委員会では、短縮・伸張歪みの時間変化とその要因等について意見交換が行われた。

(2) 長岡平野西縁断層帯周辺の地盤構造等の検討—地震波形の数値モデリング(3)—

長岡平野西縁断層帯周辺を対象領域として、3次元地下構造モデルを用いた表面波解析等について検討した結果が紹介された。委員会では、モデル高度化の方向性等に関して意見交換が行われた。

(3) 柏崎刈羽周辺における物理探査を踏まえた3次元地下構造モデル

—長周期地震動評価を目的としたモデル構築—

柏崎刈羽原子力発電所周辺における物理探査結果等を用いて、3次元地下構造モデルの改良を検討した結果が紹介された。委員会では、モデルによる地震波形の再現度合い等に関して意見交換が行われた。

以 上